

平成30年度予算見積調書

課室名：薬務課
 担当名：総務・薬事計画担当
 内線：3625 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B107	薬局のかかりつけ機能強化推進事業			一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	医薬分業支援事業費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律			宣言項目	010204 生涯を通じた健康の確保		
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>平成27年10月に策定された「患者のための薬局ビジョン」の実現を目指し、地域包括ケアシステムを支える機関の一つである薬局のかかりつけ機能の強化を図る必要がある。</p> <p>そこで、多剤併用（ポリファーマシー）対策、薬剤師と他職種による在宅患者同行訪問、地域包括ケアシステムに関わる多職種による症例検討会の開催、薬局薬剤師と病院薬剤師による地域連携事業等を実施する。</p> <p>(1) 薬局のかかりつけ機能強化推進事業 4,900千円</p>				<p>(1) 事業内容 薬局のかかりつけ機能強化推進事業 4,900千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 薬局薬剤師による多剤併用（ポリファーマシー）対策 保険者等から多剤併用高齢者の患者情報を収集 ⇒ 患者面談により服薬状況等確認 ⇒ 処方提案を含め医師へ情報提供 ⇒ 医療機関による処方の再検討 ⇒ 患者のQOL向上、負担軽減 イ 薬剤師と他職種による在宅患者同行訪問 (ア) 複数薬剤師（経験豊富な薬剤師と経験の浅い薬剤師）と他職種による在宅患者同行訪問の実施 (イ) 同行者アンケートにより薬剤師に対する要望等を調査 (ウ) 多職種相互の情報共有・情報伝達の方法を検討 ウ 地域包括ケアシステムに関わる多職種による症例検討会の開催 エ 薬局薬剤師と病院薬剤師による地域連（薬業連携） (ア) 医療機関による薬局薬剤師研修会の開催（医療機関から提供される検査値の薬局における活用方法等） (イ) 抗がん剤化学療法等に関する医療機関における実地研修 (ウ) 退院時共同指導及び入院時の情報提供のあり方の検討、情報提供用フォーマット等の作成</p>					
2 事業主体及び負担区分				(3) 事業効果					
(1) (国10/10)				<p>ア 薬の適正使用の推進と患者本位の安全な薬物療法の推進 患者のアドヒアランスの向上、副作用等の軽減 ・ QOLの向上、服用薬の減少・残薬の減少 イ 多職種との連携が強化され、情報共有等が促進 ・ 在宅訪問薬剤師の育成と在宅訪問薬局の増加 ウ 多職種との連携が促進され、かかりつけ薬剤師の資質が向上 エ 薬局薬剤師と病院薬剤師の顔の見える関係の構築 ・ 患者に入退院時に切れ目のない薬物療法を提供</p>					
3 地方財政措置の状況				(4) その他					
なし				国庫委託事業であるため、終期を設定することはできない					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1.3人=12,350千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	4,900	国庫支出金	4,900					0	0
前年額	4,900	国庫支出金	4,900					0	